

東京教区時報

第1004号
2006年9月10日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇9月の代祷・信施奉献先

▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのHIV感染者およびAIDS発症者支援のため▽心臓病児保育活動のため

《奉献先から》

バーンサバイ

バーンサバイは二〇〇二年七月七日七夕の日に開設されたHIV感染者、エイズ患者のためのシェルターです。

バーンサバイに入って来る患者たちはエイズ患者の中でも隅に追いやられた人たちです。野宿していた人、ストリートチルドレンとして育った人、少数民族や山岳民族、または難民としてタイに入ってきた人等々で

す。貧困の底で治療も受けられず、世話する人もいない、タイ人でないため福祉も受けられない、そんな人たちです。バーンサバイは患者を家族として受け入れ、病院に連れて行き、必要に応じて入院させ付き添っています。

(バーンサバイ・スタッフ
青木恵美子)

◆としえの平安

7月29日	大野與二郎 (87)	神田キリスト
7月30日	藤本 義人 (83)	月島
7月31日	堀内 彌栄 (85)	聖テモテ
8月7日	落合 正勝 (61)	聖オルバン

今週・来週の予定

9月10日～23日

- 10(日) 聖霊降臨後第14主日
主教巡回
葛飾茨十字教会
- 11(月) 聖職養成委員会
幼稚園委員会
- 12(火) 常置委員会
- 13(水) 人権委員会(聖バルナバ)
- 14(木) 財政委員会
- 17(日) 聖霊降臨後第15主日
主教巡回 目白聖公会
外濠G教会協議会 (聖テモテ)
山手G教会協議会(聖十字)
多摩G教会協議会 (聖マルコ)
環状G教会協議会(清瀬)
- 18(月・休) 教区フェスティバル (香蘭)
- 19(火) 小平墓地委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
- 22(金) 信仰と生活委・正義と平和
運営委合同委員会

(この用紙は再生紙を使っています)

北海道浦河町で様々な事業を展開している「べてるの家」を神学生のとぎ訪問しました。その朝のミーティングでの自己紹介の方法はちよつと変わっていました。「統合失調症の〇〇〇です」という風に最初に自分の病名を言うのです。それだけでも変わった自己紹介だなあ、と思ったのですが、「分裂病『金欠』型の△△△です」といったユニークな病名が出てくるので、あれ?と思っていました。彼らが言っているのは『自己病名』だと聞かされました。ソーシャルワーカーの向谷地生良氏によると「自己病名とは、主治医からもらった診断名ではなく、…自分の生活の苦労を、仲間と独自の意味づけをした

—《恵みに生かされて》—

「どこにいるのか」

聖職候補生 下条知加子

病名のこと」なのだそうです。自己病名をつけようとするとおのずと自分の立ち位置について深く洞察することになります。そこから与えられた気づきは、受けている恵みをわたしに教えてくれました。解放は、傷ついたり病んでいる私自身を押し隠すときにではなく、自分で深く知り、またそれを仲間たちと共有しあうところにありました。

あなたは「どこにいるのか」(創世記3・9)という神様からの問いかけは、今も、私たちの交わりを深い気づきと新しい豊かさへと招いてくださっています。

(神田キリスト教会・月島聖公会勤務)

《9月18日 月・休 10時半》
 △環状教会グループ協議会
 △香蘭女学校
 △説教者五十嵐正司主教

《9月18日 月・休 10時半》
 △環状教会グループ協議会では「清瀬聖母教会創立記念行事トーク&ミュージック」を催す(後援)信仰と生活委員会ほか)。トークは石岡史子・ホロコースト教育資料センター所長・演奏には立教大学ハンドベル・クワイヤー。9月24日(日)14時、清瀬聖母教会 電話042(493)7472。

▽関東三教区生野委員会主催による日韓の歴史を学ぶ会(第34回)で、映画『あんにょん・サヨナラ』を上映する。戦後60年企画日韓共同ドキュメンタリー。9月23日(土・休)14時〜17時、牛込聖バルナバ教会

電話03(3268)8067。
 当日券一二〇〇円・前売り一〇〇〇円。

▽五本木九条の会主催の「憲法を学ぶ」第8回講演会「日本国憲法をまもる信仰を守り人間をまもるために」が9月27日(水)18時30分〜20時30分、聖パウロ教会で開かれる。講師は柳時京(ユ・シギョン)司祭
 ▽立教大学チャプレン・大韓聖公会ソウル教区。照会は同教会宛に、電話03(3710)6031。なお毎月第2水曜夜には「平和を祈る礼拝」をささげている。来聴・参加歓迎。

▽立教中学・高校卒業生有志

(世話人代表・麻田恭一)による「福沢(旧姓古木)道夫司祭の司祭按手50周年記念礼拝」が企画され、同校および立教女学院の卒業生らに呼び掛けが行われている。9月30日(土)13時、立教学院聖パウロ礼拝堂(新座)。礼拝後にはティパーティ(会費2千円)も。照会電話090(3133)5883。

◇9月銀座朝拝会

第2・4火曜/7時半
 12日 話 司祭 井口 諭
 (神田キリスト教会牧師)
 26日 話 司祭 山野繁子
 (東京諸聖徒教会牧師)

◇教区HP「主教メッセージ」欄が更新されています(9月以降、更新は隔月から毎月へ変更)。

【学びと働きから】18

共催「憲法」講演会

「憲法を変えると戦争をする国になるのですか」というテーマに、「何としても行かねばならない」という思いで参加した。

戦争をする国づくりは、憲法(中でも九条)改憲を頂点とし、既にあらゆるところで着々と、そして巧みに進められている。

その事は、自民党新憲法草案と国の動き(イラク派兵、共謀罪、教育基本法、在日米軍再編、靖国神社参拝、日の丸君が代強制、近隣諸国の動静に対する報道や政治家の言動など)を総括すれば、ぞっとするほど明確だ。

今回、講師大宮溥牧師が、憲法の定義や日本国憲法成立の過

程、また憲法九条と戦力保持の問題等、改憲について複雑に絡み合う諸問題を丁寧に解説してくださいました。時間の限りもあり、九条以外、特に十九条や二十

条についてのお話や大宮牧師ご自身のお考えを伺えなかったことは残念に思ったが、講演や参加された方との交流を通して、自分がどうすべきかを再確認できたし、力も与えられた。

また、この講演会が「信仰と生活委員会」と「正義と平和協議会」との共催で開かれたことに意義深さを感じた。憲法問題は私たちの信仰や生活を脅かす問題である。今後も、憲法問題に関する学びや交流の会をどんどん開いて欲しい。

聖パウロ教会 楡原民佳

《今、この教会では：》

東京聖テモテ教会

4月より、本教会として初めて笹森田鶴司祭の管理、嘱託・定住司祭として竹内謙太郎司祭の牧会体制に入り、当年度の教会標語通り「新しい出発(たびだち)」となっています。

7月2日の教会創立一〇三周年記念礼拝・聖餐式では、植田主教から4名の若い仲間が堅信式に与り、同時に受洗50年を経た8名の方をお祝いしました。

8月には竹内司祭に4回限定講座「教会の聖歌集」をお願いし、27日には外濠グループ共催で新しい聖歌集を歌う納涼祭を開催しました。

今後、活気のある礼拝を目指したいと思います。(横山融)